

静岡県立美術館5ヵ年計画《概要版》

～創造的で多様性に富んだ社会の実現～

2022～2026年度(開館40周年)

基本理念

静岡県立美術館は、創造的で多様性に富んだ社会を実現していくために存在します。

そのために、人々が多種多様な美術表現を体験し、新たな価値と出会い、考え、理解し合う場を提供するとともに、学校や地域社会との連携を積極的にめざします。

その活動の基盤にコレクションを位置づけ、成長させ、未来へと伝えます。

実施方針

1 収集 ～コレクションの持続性～

○作品の収集方法

- ・コレクションの継続的な調査研究に基づいた、静岡県にゆかりのある作品等の収集
- ・収集は、購入、寄贈により行い、財源の継続的な確保、外部資金、等の検討

○開館40周年記念作品の収集

- ・山水・風景画を中心に広く情報を集め、県民に愛される作品を収集

2 保存 ～アーカイブの構築～

○作品の保管、管理

- ・館内外の環境の維持、収蔵庫の改修、拡張を検討

○作品の修理、修復

- ・40周年に向けて計画的な修復

○情報の保存とアーカイブの構築

- ・作品、書籍等のデジタルアーカイブの構築による検索利便性向上、作品情報の検証

3 展示 ～コレクションを核とした企画～

○企画展

- ・コレクションを核とした企画の重視、学芸員の自主企画による展覧会の充実
- ・過去と現在を踏まえて未来に向かう40周年の記念展の開催に向けた計画的な準備

○収蔵品展

- ・各ジャンルの作品をバランスよく展示、コレクションの新たな楽しみ方のプログラムの実施

○移動美術展

- ・特別版の大規模展示、これまでにない施設での展示など、新たな開催方法の検討

4 教育普及 ～Webコンテンツの拡充～

○館内での取り組み

- ・利用者に合わせたトークイベント、創作活動プログラム等の実施
- ・学校教育活動の重要な要素となるプログラムの提供、特別支援学校との連携促進

○館外での取り組み

- ・学芸員の知見を活かしたわかりやすいアウトリーチ活動、Web上のコンテンツの拡充

5 調査研究 ～研究成果の公表～

○調査研究

- ・学芸員の調査研究の一層の充実、成果の発表
- ・収集、保管、展示、教育普及などに関する専門的な研究の実施、国内外の研究者との交流

○書庫・図書室

- ・図書、作品資料の収集の確保、デジタルアーカイブとの連動による図書データの公開

6 広報 ～戦略的な広報展開～

○広報体制の充実

- ・文化施設の広報についての専門知識やメディアに精通した者を加えるなど広報体制の検討

○情報発信機能の強化

- ・最新の情報をHP、SNS等での発信、デジタルアーカイブの構築・公開等

○教育機関との連携

- ・県内小中高등학교への効果的な情報提供、県内大学と連携した情報提供、情報発信

○観光業界、アーツカウンシルしずおか等との連携

- ・観光デジタルプラットフォームとの連携、多様な文化芸術活動団体との連携

7 環境・施設整備 ～安心安全な鑑賞環境の維持～

○施設の適切な管理と快適な環境の整備

- ・施設の維持保全、改修の速やかな対応

○来館者の満足度向上

- ・来館者や第三者評価委員会からの意見、アンケート分析により速やかに対応
- ・館内の通信環境の向上、キャッシュレス決済のデジタル化の促進

○駐車場、収蔵庫の整備

8 運営 ～運営基盤の強化～

○運営基盤の拡充

- ・継続的な通常予算、国等からの補助金、民間協賛金等外部資金等の確保

○業務の効率化

○企業との連携強化による運営の充実

- ・企業の研修、顧客セミナーへの学芸員の派遣による美術館への理解